

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

令和6年7月 1日

発行責任者

校長 吉田 充

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048(771)0505

かしこく やさしく 元気よく

校長 吉田 充

早いもので、令和6年度が始まって3か月が経過し、1学期最後の月を迎えました。ここまで子供たちが明るく元気に学校生活を送ることができておりますのも、保護者の皆様並びに地域の皆様のご支援、ご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

1学期も残り一か月、子供たちのこれまでの成長について、学校教育目標の「校訓」として掲げている「かしこく やさしく 元気よく」に沿って、振り返ってみたいと思います。

まずは一つ目の「かしこく」についてです。変化が激しく予測困難な時代の中でも通用する確かな学力を身に付けさせるためには、自ら進んで主体的に学ぶ態度を育成することが肝要です。その一つのカギとなるのが「教育のデジタル化」ですが、子供たちは、ICT端末で動画解説を視聴するなど楽しみながら効率よく学習したり、書き込んだ意見を共有して思考を深めたりするなどして、情報活用能力を高めながら主体的、協働的に学習を進めています。その一方で、ノートに書いたり、意見を発表したり、実際にやってみたり、本を読んで自分の感想をもったりなど、具体的な活動や操作、体験等により、実感を伴いながら学習を進めることも大切ではないかと感じています。今後はデジタルとアナログのもつそれぞれのよさを生かしながら、子供たちがさらに意欲的・主体的に学習に取り組めるよう、創意工夫に努めてまいります。

二つ目の「やさしく」についてです。優しさは心の豊かさでもあり、先月号にも書きましたように、富士見っ子のよさのひとつでもあります。子供たちは学校生活の様々な場面において、お互いに声をかけ合い、助け合いながら、明るく元気に学校生活を送ることができています。心を豊かに育むことは、人格形成のうえでも極めて大切なことであると考えます。周囲との関わりやつながりを大切に、感謝と思いやりの気持ちをもてるよう、今後も教育活動を進めてまいります。他者との関わりにおいては、時には、いじめを含めた友達同士のトラブルなどが起こることもあります。いじめは決して許されないことではありますが、いじめはどこにでも、誰にでも起こりうることと受け止め、もし起きてしまった場合は、一人一人にしっかり寄り添い、保護者の皆様のご協力もお願いしながら全力で解決に向け取り組んでまいります。

三つ目の「元気よく」についてです。子供たちは、「ふじみのあいさつ」を生活目標の重点として取り組み、明るく元気に学校生活を送っています。児童会主催のあいさつ運動や、特別活動の一環として実施しているなかよしタイム（異年齢集団での縦割り遊び）などにより、笑顔とあいさつであふれる富士見小が実現できています。



特にあいさつは、周りの人たちに勇気と元気を与える魔法の言葉として、あいさつ名人の表彰など、学校全体を挙げて取り組んでいるところです。人と人との触れ合う機会を大切に、絆やつながりを実感させることが、「元気」に結びつくものと考えます。今後もそうした機会を意図的に教育活動の中に取り入れ、自分に自信をもって学校生活を送ろうとする

【元気いっぱい なかよしタイムの様子】 意欲を育んでまいります。

子供たちが学校に登校する日数は、今日を含めてもあと14日です。一日一日を大切に過ごし、1学期のまとめをしっかりと行わせたいと考えます。楽しい夏休みに向け、これからも元気に登校できますよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。